

研究計画書

ゼミ名	稲田ゼミ II	チーム名	甲南電力研究会(甲電研)
タイトル	POWER ECONOMICS		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー	寺山直輝 大宮洋介 門脇純 北浜和紀		
研究計画内容	<p>福島原発の事故をうけて、原発を廃止する流れが強まっています。関西では電力供給の大部分を原発に頼っており、その影響は顕著に表れていくと思われます。</p> <p>今回、私たちのグループでは関西の電力問題に焦点をあて、今夏の関西の電力需要と供給、関西電力の財務状況という二つのデータを分析し、研究を進めていきます。私たちのグループでは関西の電力状況について需要と供給、関西電力の財務問題を見ていくことにより、一方的な側面ではなく、需要する側と供給する側、双方の視点から関西の電力問題について考えていきます。以下でその詳細な内容について説明します。</p> <p>今夏の関西の電力の需要と供給からは今夏の電力需給関係がどのような状況となっていたのか、どのような発電方法で得られた電力が供給されていたか、時間、気温、曜日などによる電力需要の変化はどのようなものであるか、という事を前年との比較を交えながら分析していきます。さらに今夏は関電管区で期間内に大飯原発の再稼働があり、それによって関西の電力需給にどのような影響を与えたのかについても研究をしていきます。</p> <p>関西電力の財務状況では原発事故の影響を受けていない平成 22 年度と、事故があった平成 23 年度を比較することで原発事故が関西電力に与えた影響を見ていきます。売上、純利益、負債などの勘定項目を部門別の比較をしていく事で、現在関西電力では何が問題となっているのかをはっきりとさせます。今日、日本で原発廃止の世論が強まっている中で、原発が発電の大部分を占めている関西電力が企業として健全な状態を維持していけるのかどうかといった観点からも財務状況を見ていきます。</p> <p>需要と供給、関西電力の財務状況といった二つの側面から関西の電力問題を見た後で、これからの電力問題についてどのように対処していくか、原発は必要なのかという事について私たちの見解を示し研究のまとめとします。</p>		